

令和4年度事業報告

(概要)

令和2年初めより世界的に流行した新型コロナウイルス感染症が世界経済、日本経済に多大な影響を及ぼす中、令和4年2月よりロシアによるウクライナ侵攻も相まって世界的な物価高を招いております。また、同時に日本国内では少子高齢化が進んでおり、国内外ともに先行きに不透明さが増しております。

一方で、新型コロナウイルス感染症は第7波・8波が過ぎ、令和5年5月8日より感染法上の位置づけを「二類相当」から「五類」へと引き下げられました。社会活動も規制が緩和され始めており、コロナ前の生活に戻りつつあります。

コロナ前に比べ一層進んだ少子高齢化社会の中で、コロナ後の日本、ひいては宇多津町のさらなる発展のためにも、高齢者が働くことを通じ、生きがいを得て、地域社会に貢献することを一義的な目的とするシルバー人材センターの担う役割は益々重要なものとなっております。

さて、本年度、当センターでは、年度末会員数は、195人(対前年度比104%)、受託件数は1,254件(対前年度比97%)、契約金額は約74,097千円(対前年度比104%)となりました。

全体として、前年度と大きな変化はなく、受託件数以外は概ね微増となっております。コロナ禍前とほぼ同水準となっており、これは理事及び会員の皆様方の日々の努力が宇多津町民の皆様から評価されたものと存じます。しかし、65歳までの雇用延長の影響もあり会員の高齢化は以前に増して進んでおります。また、物価高などもあり、当センターを取り巻く環境は厳しくなっております。今後とも会員拡大、事業拡大を図りながら地域社会の貢献に努めてまいりたいと存じます。

以下、主な事業活動について報告いたします。

I シルバー人材センター事業

1. 事業実績 ()内は前年度実績

・受託件数	1,254件	(1,293件)
・就業実人員	140人	(123人)
・就業延人員	20,360人	(18,885人)
・契約金額	74,097,199円	(71,297,331円)
・就業率	71.8%	(65.4%)

2. 受託調整

宇多津町、その他の公共団体、民間事業所及び一般家庭等から仕事を受託し、センター会員への提供に努めました。

3. 職業紹介

高齢者の臨時的、短期的及び軽易な業務について職業紹介による事業の実施に努めましたが、紹介件数はありませんでした。

4. 一般労働者派遣

適正就業の推進及び就業開拓のため、派遣事業の取組を推進した結果、5 団体と契約を締結いたしました。

5. 調査研究

当町は県下において老年人口化率は一番低い状況であります。年々高齢化が進んでおり、企業の雇用延長の拡大等により60代前半の入会が減少傾向にあります。

6. 普及啓発

シルバー事業の普及と会員の入会促進を図るため、町広報誌に広告掲載しPRに努めました。3月には入会説明会を開きました。また、2ヶ月に一度のJR宇多津駅周辺のボランティア清掃の実施を行い普及啓発に努めました。

7. 安全・適正就業の推進

安全・適正就業の確保と徹底を図るため、班長会での啓発、安全運転講習会を受講し、運転意識の高揚に努めました。

8. 就業分野の開拓・拡大

令和4年中はコロナ禍の影響により控えていた部分も有りましたが、令和5年に入ってから、会員拡大も兼ね地元ラジオ（FMSUN）に出演しました。また、宇多津町広報紙に入会説明会及び刈払い機体験会案内、会員募集チラシを入れ、入会説明会を3月8日に開催しました。

9. 高齢者の人材育成講習への参加

香川県シルバー人材センター連合会の実施する、高齢者のための人材育成講習への積極的な参加により、高齢者の技能向上に努めました。

Ⅱ 法人管理事業

1. 会員の増強

シルバー事業を発展・推進するためには、会員の確保は不可欠であり、会員の増強に努めた結果、新規入会者は男性 10 人、女性 13 人で計 23 人でした。

2. 諸会議の開催

当センターの維持運営及び事業運営の執行に関して決定等をするため定時総会を 6 月に開催し、理事会を 2 回開催しました。